

ハンドマイク宣伝例「市民と野党の共闘」さらに進め、政治を変えよう」

2017年10月31日

道常任委員会

みなさんこんにちは

日本共産党の〇〇です。この場をお借りして、日本共産党の訴えをさせていただきます。しばらくの間、ご協力をお願いいたします。

みなさん

先日の衆議院選挙で日本共産党は、市民と野党の共闘で安倍政権を倒そうと、全力で頑張っていました。比例代表では日本共産党の島山和也の議席を失いましたが、北海道では市民と野党が協定書を結び、12ある小選挙区すべてで「統一候補」が実現しました。その結果、5つの選挙区で自民党に競り勝ち、他の選挙区でも大善戦しました。「市民の風・北海道」からは、共産党が「自分の党の利益を超えて立候補を取り下げ、積極的に野党協力を進めた」と、高い評価を受け、信頼関係が広がりました。ご支持、ご支援いただいたすべてのみなさんに心から感謝するとともに、新たに奮闘する決意です。

みなさん

安倍政権は、選挙で「信任を得た」と言つて、疑惑隠しと、憲法改悪を狙っています。小選挙区という問題の多い制度のために、自民党は61%の議席を奪いましたが、実際の絶対得票率は、比例代表で17%しかありません。世論調査では、半数以上が「安倍首相が首相を続けない方がいい」「憲法9条は変えない方がいい」と答えています。安倍政権に対する国民の不信感は、むしろ強まっています。さらに、沖縄ではアメリカ軍の基地建設に反対する候補が3人当選、新潟では原発再稼働に反対する候補が4人当選し、自民党はむしろ惨敗しました。安倍政権に対する怒りがはつきり示されているのです。しかも森友問題では、国有地8億円の値引きのうち、最大6億円が余分な値引きだったと、会計検査院が計算していたことも分かり、疑惑がますます深まっています。

にもかかわらず与党は、「疑惑」の追及を恐れて、今回の特別国会をたったの8日間で終わらそうとしています。しかも、国会のルールを踏みにじつて、野党の質問時間を大幅に削ろうと狙っています。さらに、沖縄で墜落したばかりの米軍ヘリも、飛ばして構わないとすぐに認めています。口では「ていねいに説明する」などと言っておきながら、裏では国民の声や国会の議論を軽んじる、とんでもない態度ではないでしょうか。安倍政権は、北朝鮮問題でも、アメリカの先制攻撃さえ認めるかのような態度を取り続けています。核兵器禁止条約を進めた団体「アイキャン」がノーベル平和賞を受賞しても、評価しようとしません。さらには、選挙が終わった途端に、社会保障費を大きく削ろうとする方針を発表しました。どれも、私たち国民の安全や願いとかけ離れた態度ではないでしょうか。

みなさん

日本共産党は、今回の総選挙を通じて安倍政権と正面から対決し、「税金は、消費税ではなくて大企業と富裕層から」「北朝鮮問題は軍事・圧力一本やりではなく外交で解決を」「憲法違反の安保法制を廃止して、憲法を守ること」「原発再稼働はストップ」「核兵器禁止条約にサインを」と対案を示しました。また、北海道の農林漁業や、鉄道の路線も、国の責任で守らせるよう訴えてまいりました。これらの公約を、国民の立場に立つて実現するために、力を尽くします。

また、この選挙を通じて、市民・道民のみなさんが「安倍暴走政治をストップさせる」「民主主義を取り戻す」と、大きな力を発揮しました。日本共産党は、市民と野党の共闘をさらに進め、平和と民主主義を守る新しい政治のために、力を尽くします。どうぞ、一緒に声を上げてまいりましょう。

日本共産党が発行する、毎日の「しんぶん赤旗」は、ひと月3497円、週一回発行の日曜版は823円です。「しんぶん赤旗」の購読もお願い申し上げます、この場での訴えとさせていただきます。

ご清聴ありがとうございます。